

令和2年度 帯広市文化財審議委員会 議事概要

日時 令和2年10月15日(木) 14時～15時10分
場所 帯広百年記念館2号室
出席者 安藤会長、齊藤副会長、小野寺委員、後藤委員、近藤委員、高玉委員、
千葉委員、福田委員、船戸委員、宮島委員 10名
欠席者 なし
事務局 井上生涯学習部長、山原館長、山中副館長、池田係長、常田主任

【内容】

1 開 会

2 議 題

(1) 令和元年度帯広市文化財保護関係事業実施状況について

【説明】

①文化財調査・保存事業、②文化財活用事業、③アイヌ伝統文化保存・伝承事業について事務局より説明。

【質疑応答】

委 員：リウカについて初めて聞いたが、こういった施設なのか。

事務局：百年記念館1階にあり、アイヌ文化に関する情報を紹介する施設である。

委 員：レンガ遺構というのは、炊事場のことを指しているのか。これは指定文化財ではないが、記載するのは適当なのか。

事務局：ご指摘の通り炊事場と推定される遺構を指している。指定されたものを文化財という場合と地域にとって重要な物を文化財という場合があり、指定文化財ではないが、地域にとっての文化財として記載している。

文化財調査・保存事業より、文化財活用事業の方が適当かもしれないので、今後記載する項目は検討したい。

委 員：地域にとって重要な物であれば、指定文化財に指定していく方がいいように思う。将来的に工事等で破損する恐れもあるので。

(2) 令和2年度帯広市文化財保護関係事業実施予定について

【説明】

①文化財調査・保存事業、②文化財活用事業、③アイヌ伝統文化保存・伝承事業について事務局より説明。

【質疑応答】

委員：NPOトカプチアイヌ協会はいつから活動を始めた団体か。これまで事業を行ってきた団体との関係性はどのようなのだろうか。

事務局：イオル事業のスタートに際して設立されたものと認識している。また、アイヌの方々については、これまでの組織に関わってこられた方も多いものと認識している。

委員：委託となっているが、委託先は公募するなどしているのか。

事務局：一者見積による随意契約である。

委員：NPOの活動はどのようなものなのか。

事務局：イオル事業の実施が主な活動と認識している。

委員：行幸道路記念碑の草刈は今年度初めて記載されたと思うが、これまではどうしていたのか。

事務局：ボランティアの方に草刈をしてもらっていた経過がある。

委員：ではボランティアの方が高齢化などで減ったため、委託することにしたということなのか。

事務局：ボランティアの方が減ったといった認識はしていないが、今年度から委託事業として予算化したもの。

委員：毎年実施してほしい。

委員：渡辺勝・カネ入植の地の草刈についても記載があるが、指定文化財ではない。このカテゴリで記載するのが適当なのかどうか。言及する範囲が広がりすぎる恐れもあり、注意が必要ではないか。

事務局：史跡標示板があるので、その関わりで記載しているものである。

委員：図書館の事業で、かつては広尾線の廃線跡などに行っていたが、そうした事業がなくなってしまった。良い事業だったので、ぜひ復活してほしい。

委員：百年記念館ではバスを使った事業があったが。

事務局：例年行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けて中止とした。

(3) その他

【説明】

市指定文化財候補について、文化財リーフレット作成について事務局より説明。

市指定文化財については、空港事務所所管の市有地に群生する十勝坊主についての要望書が3件来ている旨を報告。

リーフレットについては、デジタルデバイスが増えたことも考慮し、紙媒体以外での方法も検討していく旨を説明。

【質疑応答】

委員：昨年度は、市民から指定文化財についての要望がなかったという話があったと思う。今回十勝坊主について要望があったのなら、早期に検討した方がいいのではないかと思うが、難しいのか。

事務局：指定に向けてはハードルがあり、まずは状況の確認が必要と認識している。

委員：十勝坊主のある土地は開発される恐れがある。指定を検討するならスピード感をもってやってほしい。

委員：指定の前に、標示板などを設置して周知を図る方がいいのではないか。

事務局：考え方は理解できる。ただ、標示板の設置となると予算措置も必要となるため、すぐの対応は難しい。

委員：十勝監獄で使用されていた、房の施錠を一括管理できる装置が、刑務所が移転する際に百年記念館に寄贈され、収蔵されていると聞いた。災害時に受刑者を避難させることなどを目的としたもので、人権にも配慮した当時としては珍しいものだと思う。広く知られていないが、貴重なものなのでぜひPRしてほしい。

事務局：収蔵されているのは事実だが、装置全体ではない。展示するにしても、見せ方は考える必要がある。

委員：監獄や受刑者は、十勝の発展に寄与した。ぜひ文化財指定を検討してほしい。

委員：以前は常設展示室で展示されていたが、展示品の入れ替えの際に下げられたはず。事務局が言う通り、確かに大きなものではない。ここにしかない、貴重なものだとは思う。

委員：文化財リーフレットは、文化財単独ではなく、観光と関連させて活用できるような作り方をした方がいいのではないか。市で他の部署と横断的に作成するものはあまりないと思うので、そうした方向で検討してほしい。

例えば、帯広の森にある掩体壕や民間の建築など、これまでとは違うものを取り上げて、わかりやすいものを作ってほしい。

事務局：市内にこういったものがあるのか、以前調査したものの現状はどうなっているのかなど、今後の参考になるよう調査も進めながら検討していきたいと考えている。